



2021年11月12日

各位

会社名 株式会社 グルメ 杵屋
代表者名 代表執行役社長 椋本 充士
(コード番号 9850 東証第一部)
本社所在地 大阪市住之江区北加賀屋三丁目4番7号
問合せ先 責任者役職名 執行役経理・システム部門担当
氏名 寺岡 成晃
電話 06-6683-1222(代)

2022年3月期第2四半期累計期間業績と前年同期実績値との差異 並びに特別利益及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2022年3月期第2四半期累計期間(2021年4月1日～2021年9月30日)の業績予想につきましては、未定とさせていただきますが、本日公表の実績値と前年同期実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、下記のとおり特別利益及び特別損失を計上しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期累計期間の連結業績と前年同期実績値との差異
(2021年4月1日～2021年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前年実績値 (A)	9,257	△2,718	△2,704	△3,552	△157.39円
当期実績値 (B)	9,645	△1,567	△1,535	85	3.76円
増減額 (B-A)	387	1,151	1,168	3,638	—
増減率 (%)	4.2	—	—	—	—

2. 差異の理由

新型コロナウイルス感染症拡大により、緊急事態宣言下での営業時間短縮要請及び航空会社の減便による機内食需要の減少等、営業活動に制限が残った状況ではありますが、売上高は前年同期実績値に対して4.2%増加し、人員整理や家賃減額交渉等により経費削減に努めてきた結果、営業利益、経常利益は前年同期実績値より大幅に改善いたしました。また、親会社株主に帰属する当期純利益については、営業時間短縮協力金や雇用調整助成金等の助成金収入により前年同期実績値を大きく上回り黒字となりました。

3. 特別利益及び特別損失の計上について

(特別利益)

新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金及び時短要請協力金を助成金収入として特別利益に2,183,327千円計上いたしました。

(特別損失)

機内食事業において、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う航空会社の著しい減便による操業縮小に係る地代家賃及び人件費等を、新型コロナウイルス感染症による損失として特別損失に 419,119 千円計上いたしました。

4. 業績への影響について

上記の特別利益及び特別損失は、本日公表の「2022 年 3 月期第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

以上